

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 15 日

事業所名 多機能型事業所スマイスセレソンサポート田尻

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		用途で分けしたスペースを設け、必要時には設置物を移動させることでフリースペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	6	2		1人1人手厚い支援が行えるように職員配置を行う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	静と動の動きで部屋を分け、子どもが分かりやすい遊びの場を設けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		母朝の清掃、消毒、角の部分にはクッション材を取り付けるなど工夫している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	3	現場に携わっている職員とは、子どもについてよく話し合うようにしている。	職員みんなで集まる時間を設け、よりよい業務、支援が出来るようにしていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	評価を実施している。	評価だけでなく、面談等の機会を増やし、意向を把握していきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2	結果は、ホームページに掲載している。	評価や意見を業務に反映しているが、改善の周知にまで至っていない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5	法人本部や他事業所により改善内容を把握、改善管理することを徹底している。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	5	個別で研修に参加している。	特定の職員が研修に行く形になっていた為、職員全員が参加できるよう研修の場を確保していきたい。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		その都度保護者の意向を聞き、他職員とも話し合い、作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		誰が見てもわかりやすいツールを取り入れていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支 援 の 提 供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	2		トータル支援は今後の課題。 ご本人やご家族へのサポートを考え、職員のスキルアップを加速させたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			研修会に積極的に参加し、支援内容をより良いものにしていきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	現場の職員と考えている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	その時の子どもの状況や季節の物などを取り入れたりしている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	8		集団、個別の時間を分けて支援している。集団の様子で苦手なものを個別課題で取り入れることが出来ている。	集団の時間が多いため、個別療育にも力を入れていきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎日行うことが出来ている。	より良い支援ができるように支援内容、スタッフ配置、役割分担等を考えていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		毎日行うことが出来ている。	職員みんなが把握し、支援・コミュニケーションをとっていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			支援記録、モニタリングの内容を分かりやすく充実させていきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		日々変化する児童期の状態、療育による特性内容の変更は繊細であり、慎重に実施している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			詳しく伝えられる者が参加し、情報共有・支援を行っている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	3	気になる子どもがいる時は、連携し支援を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		8		医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		8		医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		支援内容を園に報告したり、気になっていることを共有するようにし、子どもに同じような関わり方をすることが出来るようにしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	ご家族や小学校から要請があれば行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	気になる子どもは、療育の先生にお話を伺ったり、子どもが療育している様子を見学して、助言をしてもらっている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8		隣接している園で、交流を行っている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6		今後は積極的に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		その日の様子を丁寧に伝え、ご家庭での様子が気になるときには、連絡を取り合うようにして、今後のことを話すように心掛けている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	6	日々のお知らせの中で伝えるようにしたり、保護者からの相談に乗るようにして	職員みんなが対応できるように、一人ひとりスキルアップを行いたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		書面とともに説明を行っている。	変更があった場合は、事前に説明を行う。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1	利用児童の保護者へ支援計画の説明を行い、同意を得るようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	相談があった際に行っていた。	定期的に面談を取り入れ、更に希望・要望の把握が出来るように取り組みたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8		行えていないため、来年度は実施したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		相談、申し入れ等が入った場合は、職員に場面、事例を共有、保護者の方に周知、対応をしている	
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		8		定期的に連絡をするよう努める。また、余裕をもって予定を伝えるようにする。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		流出、紛失がないように管理ができる場所に保管している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		毎日その日の様子を写真付きで連絡している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8		機会があれば招待していきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	マニュアルを策定し、訓練を実施している。	再度職員や保護者にも周知を行い、訓練も引き続き行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		避難場所へ子どもと一緒に確認を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			内服変更を徹底して把握していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			アレルギーと好き嫌いを関連付けて管理していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		ヒヤリハットがあれば職員間で共有及び対策はしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		職員研修にて虐待及び身体拘束についての研修を取り入れている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		身体拘束については、重要事項説明書に記載をしている。	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 多機能型事業所スマイスレソソサポート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1	静と動でスペースを分けて過ごしている。	利用児が増えていけば、再度職員間で話し合ってスペースを確保していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	8	2	しっかりと支援が出来るように配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	3	ホワイトボードや絵カード等を用いて分かりやすいようにしている。	身体障がい者の受け入れを現在行っていないため、今後受け入れられるようになるのであれば、改善が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		おもちゃの消毒等、毎日行っている。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	2	業務改善できるように努めている。	より良い業務が出来るようにPDCAを取り入れていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		満足していただけるよう業務改善していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		ホームページに公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2		引き続き評価結果による業務改善を行っていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	毎月研修を開催している。	
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	1	利用児の様子を共有し、必要な支援を行っている。	しっかりと分析を行い、支援計画作成に取り組んでいく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1		みんなが分かりやすいアセスメントツールを作り、状況を把握していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	3	ガイドラインに沿って具体的な支援内容の設定が出来ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		どのようにしたら楽しみながら過ごせるかを話し合うことが出来ています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		情報収集を行い、話し合っ固定化しないようにしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2	活動の時間に合わせて、課題を設定している。長期休暇には普段できない内容を取り入れるようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10		集団活動は月で計画をしているが、成長過程を考慮して作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		毎朝打ち合わせをしています。午後からの職員に対しては、出勤後に共有をしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		フィードバックをしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		記録する内容、記録の仕方を常に見直すことが出来ている。	
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10			モニタリング時期をしっかりと確認していく。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	支援に携わっている職員が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	3	積極的に母子保健の方等に連絡し、支援している。	みんなが連携できるような体制をつくっていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	10		医療的ケアが必要な子ども等の受け入れは行ってない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	10		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2	利用児が隣接している園に通っているため、積極的に担任の先生と情報共有をすることが出来ている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	10		今度スムーズに情報共有が出来よう、近隣の学校の先生と連携をとっていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3		積極的に研修等に参加していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	10	0	隣接している園の行事等に参加することが出来ている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	8		機会があれば積極的に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1	送迎時等で様子を伝え、共通理解をもつようにつとめています。	面談の機会も設けていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	2	寄り添いながら支援していきます。	職員も研修を受け、どの方法が良いか、保護者の方と一緒に探していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	3	保護者の方に対面で説明を行い、同意を得ることが出来ている。	今後も支援計画のねらい及び計画の説明を丁寧に言い、同意を得ていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	2	悩みなどがある場合は、送迎時やアプリ、電話を使って話をしている。	送迎時だけでなく、定期的に面談を行っていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	8		アンケートに基づき、開催していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10			要望があれば対応しているが、迅速かつ適切になれるように努めていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		毎月活動予定を配信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			個人情報がないように気を付けている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		普段会えない保護者には、LINEやアプリ、電話等を通して伝えています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	8		今後開催するときは、招待していきたい。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10		マニュアルを策定しており、共有することが出来ている。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		定期的な訓練を取り入れている。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	1	契約時にあらかじめ記入してもらっている。	定期的に変更等ないのか、保護者に確認していく。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			該当者がいるときは指示書に基づいて対応していく。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		職員間で共有し、再発防止するよう努めています。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		定期的に研修を行っている。	



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	2		引き続き保護者の方にも文章等でお伝えしていきたい。

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： R6 年 3 月 1 日

事業所名 サポート小池原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		指導訓練室を区分分けし学習スペースを設けている	小集団での生活空間を提供しており安全面に配慮し、快適な療育を進められる計画を立てています
	2	職員の配置数は適切である	7		基準に沿って利用人数に合わせた職員配置をしている	今後も施設基準に沿って、運営していきます
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	動線を確保し物を置かないようにしている	十分なスペースを作り、安全面に配慮します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		日頃より清潔を保つように心がけている	視覚的な支援も取り入れ、机や椅子以外何もない空間を提供します
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		保護者さんと連絡を密に行い、改善ができています	個別に保護者と連絡を取り改善に努める
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者さんと連絡を密に行い、改善ができています	個別に改善や要望の聞き取りを行います。会議に参加できない職員には議事録などで共有します
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		今年度分より公表 今後、支援内容の評価及び公表を行っていく	法人内のホームページを利用して公開予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		未実施
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		研修会の参加は出来ている。外部研修にも参加できるようにお知らせをしている	研修への参加を促していきます。職員への周知を行います
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		半年に一度見直しを行っている	今後も定期的にあセスメントを行い、計画に反映させていきます
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		月ごとにその時期に応じた活動計画を立てている	今後も定期的にあセスメントを行い、特性や状態把握に努めます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		児童発達支援管理責任者が計画を立てる中で、他の職員が関わりながら活動計画の立案と実施にあたっての準備を行っている	今後も連続性の支援を意識しながら就園就学に向けて、各園や関係事業所と連携しながら継続して取り組みます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		職員間で確認しながら活動プログラムの立案と実施を行っている	個々の特性に応じた発達支援を行っていきます。各園との連携や、保育士と話し合う機会をもち質の向上を目指します。発達年齢に応じた課題や就学に向けての課題に重視しながら行う季節感を取り入れた活動や行事に向けた活動を毎日のプログラムに入れていきます
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		職員で共有しながら行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		その時期に合った活動を考えている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		個別や小集団活動でのプログラムを作成し、日々の活動を行っている	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼にて支援確認をおこないその都度職員間で話し合うようにしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		児童の様子は支援終了後に職員間で共有し改善を行うようにしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		その日の担当を決め記録を残すようにしている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		関係機関や保護者からの情報や意見を共有している	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		担当者会議の日程に合わせて児童発達支援管理責任者または管理者が参加するようにして	会議の前に職員と児童の様子を再確認し会議に参加するようにします
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		受け入れ状況や就園、就学についての相談などを行っている	今後も就園、就学について、学校関係や放課後等デイサービスなど関係機関との連携を図ります
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		隣接する保育園と連携する機会がある。	今後も連携して情報共有していきたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6	事業所内の職員が協議会に参加はしていない	課題等について保護者と連携しながら「支援」向上に努めます  保護者の意見や要望を取り入れ、定期的に開催できる機会を検討します
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		HUGでの連絡帳や写真を通してこどもの様子や状況、対応方法を伝えている	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	2	個別に対応して助言をおこなっている	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		利用に関する書類については契約時に運営規定、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や利用方法、パンフレットを用いて具体的な説明を丁寧に行っている	不明な点があればその都度、説明をして丁寧な対応を行います
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		本人の特性や保護者のニーズを反映した個別支援計画を作成後、保護者へ支援内容の説明や確認をとり同意を得ている	保護者に分かりやすく説明し丁寧な対応を行います
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		悩みのある保護者に対しては話を聞き、必要であれば専門家の意見を聞き対応している	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	クラスごとで保護者同士の連携や情報の共有はできている	必要に応じた対応や開催の検討をしていきます
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		迅速かつ適切を旨として相談対応にあたっている相談された内容が職員間で共有できるようにしている	今後も相談・苦情内容に応じて迅速かつ適切な対応に努めます
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2	行事予定については園と確認して連携しながら通知している。	今後も継続し、写真等個人情報の取り扱いには十分留意して掲載、配布を行います
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	7		利用契約時に個人情報使用同意書の説明を行い、写真の掲示や使用に関しても同意を得ている	も個人情報の取扱いや情報漏えいに注意していきます。写真の掲載の際は事前に同意を得て確認をとる。個人情報が記載されている文書の廃棄についてはシュレッターを使うなど、注意していきます
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		障がいや特性に合わせ、配布物による視覚支援を取り入れるなど配慮をしている	障がいや特性によって配慮を行うが利用者や保護者対応に不公平が生じないよう一貫した支援を行います
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			今年度は未実施	
	非常	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		職員間では周知できているが、全てのマニュアルを保護者に周知することはできていない

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
時 等 の 対 応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	7		毎月地震や火災を想定し た避難訓練を実施してい る	今後も非常災害計画に基づき、毎日避 難経路の整備や確認を行ないます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等 のこどもの状況を確認している	7		利用開始前に身体、精神 状態の把握、アレルギー、 服薬等の状況を確認 をしている	今後も、事前に身体、精神の状態把握 に努めます治療されている方に対 しても、服薬内容や状態把握に努 めます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされてい る	7		契約時に確認している 提供時にはダブルチェッ クをして観察している	利用開始前に食物アレルギーについ て確認します原因物質がある場合 は、確認行い提供します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所 内で共有している	7		資料や報告書で共有して いる	ヒヤリハットは事業所内または法 人内でも情報を共有し、事故を未 然に防げるよう努力していきます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機 会を確保する等、適切な対応をして いる	7		虐待防止に関する研修会 には必ず参加している 参加できない場合や資料 を参考に再確認するよう	今後も積極的な研修会への参加 を行います「虐待防止チェックシ ート」表を用いて定期的に行い、 改善を図ります
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束 を行うかについて、組織的に決定し、 子どもや保護者に事前に十分に説明し 了解を得た上で、児童発達支援計画 に記載している	7		必要性が低く身体拘束は 行っていない	現在、身体拘束の必要性がないが、 虐待防止上必要とされる身体拘束 の3原則を今一度全職員で確認し ます

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3 月 1 日

6名

事業所名 多機能型事業所スマイスレソソサポート三佐

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		トイレや手洗いの位置が子供たちにとっては高いため、台を作る等工夫している	踏み台等からの転倒や机や椅子での接触によるケガに注意する等安全面での配慮をしていきます
	2	職員の配置数は適切である	5	1	利用者数に合わせた配置基準の職員数になっているが移動や活動内容によってはケガや事故防止のための職員確保が必要	見守りや支援の必要性の高いことについてはグループ編成や職員を多く配置して支援します 視覚的な支援も取り入れ、机や椅子以外何も無い空間を提供し、構造化を図ります
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	個別や5名以下の小集団支援のため静かな空間や外で体を動かせる支援の提供。静と動の遊びをわかりやすく区切って環境づくりを行っている。 荷物置き場をテーブルで枠を作ったり視覚的支援を	毎日、玄関や各教室の清掃、消毒、換気を行い清潔な空間に努めている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		定期的な個別会議を行い振り返りを行っている 参加できない職員には議事録を確認するなど周知や業務改善へ全職員に伝達している	日頃から、清潔を保ち子どもたちの特性に合った環境（人数配置や場所）を設定します
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		定期的な個別会議を行い振り返りを行っている 参加できない職員には議事録を確認するなど周知や業務改善へ全職員に伝達している	全職員の周知を図るため定期的な確認が必要。定期的なミーティングへの参加が難しい場合には、議事録で確認する等職員間での情報共有を行います
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		日頃からコミュニケーションをとることやアセスメントシートから保護者からの意向を把握し、支援や業務改善へつなげている	保護者からの意見には様々な情報交換の中で真摯に耳を傾け、業務改善につなげていきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	4	今年度分より公表 今後、支援内容の評価及び公表を行っていく	法人内のホームページを利用して公開予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		第三者による外部評価については未実施
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	研修については可能な限りオンライン研修に参加、報告、意見交換している	全職員が研修参加は難しいため、研修会の実施内容の確認や意見交換を行う時間の確保に努め実施してまいります
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		利用者の日頃の様子を伝え利用者や保護者のニーズに合わせて支援を行っている	今後も面談時や定期的にアセスメントを行い、個別支援計画作成につなげます
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		半年に1度評価を行い、特性や状態把握につなげている	今後も定期的にアセスメントを行い、特性や状態把握に努めます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		児童発達支援管理責任者が統括する中で、保育士、児童指導員、作業療法士の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施にあたっての準備を行っている	今後も連続性の支援を意識しながら就園就学に向けて、各園や関係事業所と連携しながら継続して取り組みます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		職員間で確認しながら活動プログラムの立案と実施を行っている	今後も個々の特性に応じた発達支援を行っていきます 各園との連携や作業療法士、保育士と話し合う機会をもち、質の向上を目指します
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		保育士と作業療法士が関わりながら活動プログラムの立案と実施を行っている	発達年齢に応じた課題や就学に向けての課題に重視しながら行う
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		固定化しないように話し合い、職員も利用者と一緒に楽しめるか確認している 利用者の発達や特性に合わせてプログラム内容を提供している	季節感を取り入れた活動や行事に向けた活動を毎日のプログラムに入れている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	6		個別や小集団活動でのプログラムを作成し、日々の活動を行っている	発達特性に配慮し日々の活動、週間、月間、年間と1年を通して個別または小集団から集団に慣れるプログラムを作成し、構造化を図ります
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		支援前には当日の予定や役割分担、支援内容の確認を行っている	参加できなかった職員には日報、議事録で確認し、日々の支援内容の情報を共有します
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		終業時に情報共有を行い、その日の課題や改善すべき点をHUGの業務日報で共有し話し合っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		利用者一人ひとりの活動記録や相談内容を担当が記録し、情報共有できる体制をとっている	記録時間や情報を共有できる時間を確保していきます
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		関係機関や保護者からの情報や意見を共有している	今後も継続して取り組みます
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		担当者会議の日程に合わせて児童発達支援管理責任者が参加するようにしている	可能な限り、関係機関の全事業所が同席し情報の共有ができるようにしていきます
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	児童発達支援の受け入れ状況や就園、就学についての相談などを行っている	今後も就園、就学について、学校関係や放課後等デイサービスなど関係機関との連携を図ります
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		隣接する保育園や幼稚園、小学校と連携する機会がある	定期的に情報交換をし、今後も継続して取り組みます
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	感染防止のため参加できない研修があるが助言を受けている 各事業所主催の研修にはビデオ研修で参加している	研修内容について資料など回覧して職員へ情報共有していきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		隣接する保育園や幼稚園、と交流する機会がある	隣接する保育園や幼稚園と交流する機会は多いため継続していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5	事業所内の職員が協議会に参加はしていない	HP等を参考に会議内容等情報の伝達を行っています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		HUGでの連絡帳や写真を通してこどもの様子や状況、対応方法を伝えている	状況を伝えることはできているが、課題について保護者と解決方法を共有できる方法を考えていきます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	3	個別に対応して助言をおこなっている	保護者の意見や要望を取り入れ、定期的に開催できる機会を検討します
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		利用に関する書類については契約時に運営規定、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や利用方法、パンフレットを用いて具体的な説明を丁寧に行っている	不明な点があればその都度、説明をして丁寧な対応を行います
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		本人の特性や保護者のニーズを反映した個別支援計画を作成後、保護者へ支援内容の説明や確認をとり同意を得ている	今後も保護者に分かりやすく説明し丁寧な対応を行います
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		保護者からの子育ての悩み相談については日頃から真摯に対応している 相談内容によっては専門職が対応しています	相談内容によっては適切な助言ができない場合は、相談員の介入もしていきながら事業所として適切な回答を模索した上で助言していきます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	クラスごとで保護者同士の連携や情報の共有はできている	必要に応じた対応や開催の検討をしていきます
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		迅速かつ適切を旨として相談対応にあたっている 相談された内容が職員間で共有できるようにしている	今後も相談・苦情内容に応じて迅速かつ適切な対応に努めます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		行事予定については園と確認して連携しながら通知している。	今後も継続し、写真等個人情報の取り扱いには十分留意して掲載、配布を行います
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		利用契約時に個人情報使用同意書の説明を行い、写真の掲示や使用に関しても同意を得ている	今後も個人情報の取扱いや情報漏えいに注意していきます。写真の掲載の際は事前に同意を得て確認をとる。個人情報が記載されている文書の廃棄についてはシュレッダーを使うなど、注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		障がいや特性に合わせ、配布物による視覚支援を取り入れるなど配慮をしている	障がいや特性によって配慮を行うが利用者や保護者対応に不公平が生じないように一貫した支援を行います
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		今年度は未実施	



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2	職員間では周知できているが、全てのマニュアルを保護者に周知することはできていない	利用契約時による対応マニュアルの提示や訓練の様子等報告を通知してまいります
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		毎月地震や火災を想定した避難訓練を実施している	今後も非常災害計画に基づき、毎日避難経路の整備や確認を行ないます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		利用開始前に身体、精神状態の把握、アレルギー、服薬等の状況を確認をしている	今後も、事前に身体、精神の状態把握に努めます 治療されている方に対しても、服薬内容や状態把握に努めます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		契約時に確認している提供時にはダブルチェックをして観察している指示書や保護者の申告に基づいて対応している	利用開始前に食物アレルギーについて確認します 原因物質がある場合は、確認行い提供します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		資料や報告書で共有している	ヒヤリハットは事業所内または法人内でも情報を共有し、事故を未然に防げるよう努力してまいります
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止に関する研修会には必ず参加している参加できない場合や資料を参考に再確認するようにしている	今後も積極的な研修会への参加を行います 「虐待防止チェックシート」表を用いて定期的に行い、改善を図ります
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		必要性が低く身体拘束は行っていない	現在、身体拘束の必要性がないが、虐待防止上必要とされる身体拘束の3原則を今一度全職員で確認します

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3 月 1 日

事業所名 多機能型事業所スマイスレソソサポート別府

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		スペースとして適切な広さがあるがワンルームというつくりで走りまわり児がいるのが現状	パーティションを使うなど空間を分ける工夫をしています
	2	職員の配置数は適切である	8			見守りや支援の必要性の高いこどもには個別の対応を行い支援します。 視覚的な支援も取り入れ、机や椅子以外何も無い空間を提供し、構造化を図ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎日、玄関や各教室の清掃、消毒、換気を行い清潔な空間に努めています	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		定期的に個別会議を行い振り返りを行っています 参加できない職員には議事録を確認するなど周知や業務改善へ全職員に伝達しています	今後も職員の周知を図るため定期的な会議と振り返りを行っていきます。 ミーティングへの参加が難しい場合には、議事録で確認する等職員間での情報共有を行います
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		日頃からコミュニケーションをとることやアセスメントシートから保護者からの意向を把握し、支援や業務改善へつなげています	今後も送迎時や保護者との面談での様子を職員で情報交換・共有しながら保護者と利用児のより良い生活に尽力します
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		今年度分より公表 今後、支援内容の評価及び公表を行っていく	法人内のホームページを利用して公開予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				第三者による外部評価については未実施
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		研修については可能な限りオンライン研修に参加、報告、意見交換している	全職員が研修参加は難しいため、研修会の実施内容の確認や意見交換を行う時間の確保に努め実施してまいります
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		利用者の日頃の様子を伝え利用者や保護者のニーズに合わせながら、発達段階に合わせて支援を行っています	今後も面談時や定期的にアセスメントを行い、無理なくスモールステップの個別支援計画作成につなげます
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			今後も定期的にアセスメントを行い、特性や状態把握に努めます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		児童発達支援管理責任者が統括する中で、保育士、児童指導員が関わりながら活動プログラムの立案と実施にあたっての準備を行っています	今後も利用児が主体の支援を意識しながら就園就学に向けて、関係機関で連携しながら継続して取り組みます

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	計画に基づくことはもちろん行いながら全体的な療育活動を実施を行っています	今後も個々の特性に応じた発達支援を行っていきます 各園との連携や保育士や児童指導員と話し合う機会をもち、質の向上を目指します		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	全職員で意見を出し合い月案を作成しています	発達年齢に応じた課題や就学に向けての課題に重視しながら無理なく行っていきます		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	活動がマンネリ化しないように毎日活動を変えています また、静の活動の次の日は動の活動を入れるなど考えながら個別・集団活動を行っています。	季節感を大切に春夏秋冬に意識が向く活動を心がけていきます		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	8	毎日一つの個別活動と小集団での朝の会を予定し、児童発達支援計画を作成しています。	発達特性に配慮し、約1年を通して個別または小集団から集団に慣れるプログラムを作成していきます		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	当日の予定や役割分担、支援内容の確認を行える職員と特活や巡回の職員は確認ができていない状況です	参加が難しい職員には日報、口頭、議事録で確認し、日々の支援内容の情報を共有を行っていきます	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	空き時間にその日の利用児の様子や今日の課題を共有しハグに反映させたり話し合っています		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		利用者の活動記録や相談内容を記録し、情報共有を行っています	情報を共有できる時間を確保していきます	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		関係機関や保護者からの情報や意見は共有できています	今後も継続して取り組みます	
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		担当者会議の日程に合わせて児童発達支援管理責任者が参加するようにしている	可能な限り、関係機関の全事業所が同席し情報の共有ができるようにしていきます
		22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		児童発達支援の受け入れ状況や就園、就学についての相談などを行っています	今後も就園、就学について、学校関係や放課後等デイサービスなど関係機関との連携を図ります
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし		
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし		
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		施設が園や学校と離れているため電話や送迎時の情報共有を行っています	定期的に情報交換をし、今後も継続して取り組みます	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8				
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		感染防止のため参加できない研修があるが助言を受けている	研修内容について資料など回覧して職員へ情報共有していきます	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8	同グループの園ともなかなか交流がない状況です（立地の問題・職員不足）	今後は交流する機会を定期的に設けていきます
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		8	事業所内の職員が協議会に参加はしていない	HP等を参考に会議内容等情報の伝達を行っています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		ハグの連絡帳や写真を通してこどもの様子や状況、対応方法を伝えていきます	状況を伝えることはできているが、課題について保護者と解決方法を共有できる方法を考えていきます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		8	個別にお話しているが集団での活動はできていない状況です	保護者の意見や要望を取り入れ、定期的に開催できる機会を検討します
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		利用に関する書類については契約時に運営規定、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や利用方法、パンフレットを用いて具体的な説明を丁寧に行っています	不明な点があればその都度、説明をして丁寧な対応を行います
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		本人の特性や保護者のニーズを反映した個別支援計画を作成後、保護者へ支援内容の説明や確認をとり同意を得ています	今後も保護者に分かりやすく説明し丁寧な対応を行います また保護者にわかりやすい内容や言葉を選んでいきます
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		保護者からの子育ての悩み相談については日頃から真摯に対応しています 相談内容によっては一度サポートに持ち帰り、職員カンファレンスを行っ	今後も保護者目線を忘れず真摯に向き合い言葉を選びながら対応していきます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8	来所時に見学してもらうことはありますが参観日を設けておらず保護者が集う場所が提供できておりません	今後は開催の検討をしていきます 昨年は夏祭りを行い沢山の保護者や児童が集まり交流できましたので今年も意欲的に企画していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		迅速かつ適切を旨として相談対応にあたっている 相談された内容が職員間で共有できるようにしています	今後も相談・苦情は迅速かつ適切丁寧に対応を行っています
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		8	定期的な会報等の発行はできておりません	今後は会報等を発行し、スマイスセッションサポート別府やスマイスセッションサポートの他事業所についてもお知らせしていきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		利用契約時に個人情報使用同意書の説明を行い、写真の掲示や使用に関しても同意を得ています	今後も個人情報の取扱いや情報漏えいに注意していきます。写真の掲載の際は事前に同意を得て確認をとる。個人情報記載されている文書の廃棄についてはシュレッダーを使うなど、注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			障がいや特性に合わせ、配布物による視覚支援を取り入れるなど配慮をしています	障がいや特性によって配慮を行うが利用者や保護者対応に不公平が生じないように一貫した支援を行います 電話や対面でお伝えしラインで文字を残すなどの配慮も行っています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			今年度は未実施	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		職員間では周知できているが、全てのマニュアルを保護者に周知することはできておりません	利用契約時による対応マニュアルの提示や訓練の様子等報告を通知していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に地震や火災を想定した避難訓練を実施しています	今後も非常災害計画に基づき、毎日避難経路の整備や確認を行ないます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		利用開始前に身体、精神状態の把握、アレルギー、服薬等の状況を確認をしています	今後も、事前に身体、精神の状態把握に努めます 治療されている方に対しても、服薬内容や状態把握に努めます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		契約時に保護者に記入してもらい確認しています	利用開始前に食物アレルギーについて確認します 原因物質がある場合は、確認行い提供します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		資料や報告書で共有しています	ヒヤリハットは事業所内または法人内でも情報を共有し、事故を未然に防げるよう努力していきます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止に関する研修会には必ず参加しています 参加できない場合や資料を参考に再確認するようにしています	今後も積極的な研修会への参加を行います 「虐待防止チェックシート」表を用いて定期的に行い、改善を図ります
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		トキワの8階にあり、駐車場は非常に通りが多いため児童発達支援計画に場合に依りて身体拘束を行う可能性があることこの同意は得ています	虐待防止上必要とされる身体拘束の3原則を計画の説明時に丁寧に説明し確認していきます

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。